

勢多と多へと勅むる詞小權六舟まをりて、
 門く水小飽る体あり。此上の唯款小向ひ戦死なして没を身
 じまが遠水筒もへりせん。先祭軍の奉ぐこめ小赤破らんと大
 ち力知れたぬた桶をたつと吹放す。利利く一戸等編り桶板
 ち八方小散礼して。情味よげ小碎を鞭くと大笑はし。所便馬おひらりと
 うら湾。魏く無とて馳察らる。方儀猪家が桶を碎き出軍せし
 心せりふ小殺率小必死の意を志ゆ。勇軍を烈まさんぐ為小形
 ちかへしはるゆけ小こそ

繪本豊臣勲功記之編巻之七終